

秋芳町別府江原

人情あふれる隠れ里めぐる江原ウバーレコース
～パワースポットがたくさんありますよ～

中級



距離
1.7km



時間
約1時間00分



歩数
約3,000歩

①江原集会所



駐車場・トイレあります

②丘の空



カルスト台地に多く見られる月のクレーターのような窪地を「ドリーネ」といい、このドリーネがいくつも組み合わさった、さらに大きな窪地を「ウバーレ」というが、江原地形はウバーレの典型的な地形です。ウバーレの底から斜面にかけて家屋が密集しており、他の集落とは隔離されています。これらの地形も含めて美祿市は、平成27年9月に日本ジオパークに認定されました。

③水の吸い込み穴



江原地区には川が流れていません。降雨時には、標高約170mにある吸い込み穴と、標高140mの盆地の最低部にある吸い込み穴に流入し地底に消え、下嘉万地区の湧水となります。昭和39年に簡易水道が敷設されるまでは、井戸水と天水を利用していました。井戸のない家は近隣の家から飲料水を確保しました。生活用水や農業用水などは天水溜をつくり利用していました。農業は畑作中心で、水稻はほとんどありません。

④岩屋



家のすぐそばに、石灰岩の岩柱が立ち並んでいます。一部は家の内部まで張り出しています。

⑤横田黙助先生の碑



天保7年1月1日生まれ。16歳で吉田松陰の門下生となり、38歳で江原の寺小屋の先生となりました。30年間で約600人を教えています。大正5年8月に81歳で死亡。知育と徳育を兼ね備えた明治の大教育者でした。100年後の今でも横田先生の功績に対する感謝の気持ちが受け継がれています。



もりさま

江原は、二つの地区に分かれている。谷の北側が上、南側が下である。それぞれの地区にもりさまが祀られている。上のもりさまは「蛇」、下のもりさまは「蛙」が祀られている。

もりさまの祭りは、年に2回行われ9月か10月に夏申し、11月に秋申しが行われる。祭りは上と下が同じ日に行われ、その時期の収穫物と赤飯（塩なし）、御神酒を供える。蛇が蛙を食べたらいけないので、先に上地区のもりさま蛇、後に下地区の蛙の祭りがとり行われている。



注意

【へびのもりさま】まで約330mあり、コースが入り組んでいます。また季節によっては、藪になるため危ない箇所があります。

マップのへびとカエルのマークが目印★